



## 園児が描いた消防車両を展示

消防車両写生展示会・12/21～27

No.5

「消防車両写生展示会」が口和自治振興センターで開催され、みどり園保育所の園児が描いた22作品が展示されました。

これは、秋の全国火災予防運動の一環で園児が描いた消防車両の絵を、たくさんの人に見てもらいたいとの思いで実施されたものです。

展示された絵には、色鮮やかに描かれた消防車や救急車が並びました。また、展示会の初日には園児の保護者や地元の人が集まり、楽しそうに観覧していました。

作品を観覧した人は「消防車や救急車の特徴がよく描かれていて、見ていて楽しかった」と話しました。



▲園児の力作が並んだ

## ラッピングバスで大学を応援

県大ラッピングバスの運行・12/27～

No.7

県立広島大学庄原キャンパスの学生がデザインしたラッピングバスの運行が始まりました。

備北交通㈱は、地域の大学をPRし応援するため、同大学に備後庄原駅とキャンパスを結ぶバスにラッピングを施す取り組みを呼び掛けました。

学内でデザインを公募した結果、山本真由さん（2年）が作成した夕暮れ時のキャンパスと同大学のキャラクターを描いた作品や、川村愛香さん（4年）と矢野華梨さん（4年）が作成した色鉛筆で描いたキャンパスに「世界へ翔ばたけ」の言葉を添えた作品の2種類が選ばれました。

山本さんは「家族や友人が喜んでくれた。バスを見て、大学へ興味を持つ人が増えてほしい」と話しました。



▲ラッピングを喜ぶ（左から）川村さん、矢野さん、山本さん

## 暦で世代間交流

恒例のオリジナルカレンダー・12/12～16

No.4

西城町内の保育所、小・中学校、高校が協力して令和5年のカレンダーを作製し、町内の一人暮らしの高齢者に配布しました。

これは地域の高齢者と交流を深め、若い世代に福祉への理解と関心を持ってもらいたいとの思いで、毎年行われています。カレンダーには園児・児童・生徒が描いた地元の風景や花などが掲載されています。

カレンダーは、西城小学校の4年生4人と西城紫水高校の全校生徒56人が、高齢者宅を訪問し、手渡しやポストに投函して配布しました。

西城小学校の児童は「カレンダーを渡したら、みんな喜んでくれた。来年も頑張って作ります」と話しました。



▲カレンダーを配布する児童

## サンタからの贈り物

比和保育所 クリスマス会・12/26

No.6

比和保育所で、クリスマス会が行われました。

この行事は、保育所と保護者が子どもたちに夢を与えたいという思いで、毎年行われています。

初めに年長組の園児がテーブルにろうそくを飾り付け、キャンドルサービスを行いました。

その後は、クリスマスソングを歌ったり、園児が事前に作ったクリスマス用の飾りを披露したりして行事を楽しみました。

また、最後にクリスマスプレゼントのお菓子を配り始めると、園児一同大喜びで、この日一番の盛り上がりを見せました。

行事を終えた園児は「プレゼントを貰えて、とてもうれしかった」と笑顔で話しました。



▲プレゼントをもらって喜ぶ園児

## 3年ぶりの開演！

東城ミュージックコンサート・1/15

No.1

東城地域のバンドや楽器演奏者の育成と発表の場の提供を目的とした「東城ミュージックコンサート」が、東城文化ホールで開催されました。

3年ぶりの開催となった今回は、ベテランバンドや町内のエレクトーンの教室に通う子どもたちなど、幅広い年齢層の8組が出演。230人の来場者の前で演奏を披露しました。

この日のために練習を重ねてきた出演者の演奏に、来場者が拍手や手拍子で応え、会場は久しぶりの開催を喜ぶ笑顔にあふれていました。

例年は、来場者にディナーを提供していましたが、今回は新型コロナウイルス感染防止のため中止とし、その代わりに、地域の有志が手作りしたお菓子などを、来場者一人一人に配りました。

来場者は「久しぶりに、広い会場で大音量の演奏を聞くことができ、心が熱くなった。来年以降も続くことを願っている」と話しました。



▲ステージ上で熱唱



▲エレクトーン教室の演奏



▲来場者に配られたお菓子

## 木次線を次世代へ

木次線ラッピング列車お披露目式・1/13

No.3

JR木次駅で、本市も参加する木次線利活用推進協議会による「木次線ラッピング列車お披露目式」が開催されました。

観光列車「奥出雲おろち号」の運行終了が近づく中、新たな観光推進策としてラッピングが施されました。デザインは、木次線のイメージカラーである山吹色をベースにしたツートンカラーで、地域の名所などをイメージしたピンク色（桜）・黄緑色（棚田）・水色（斐伊川）・灰色（たたら）が1色ずつ使われた4種類です。「木次線を次世代へつなげたい」という願いを込めて「RAIL is BATON.」の文字が書かれています。

お披露目式では、木山耕三市長をはじめ関係者や地域の人、地元保育園児が集まり、完成を祝いました。



▲参加者に見送られながらラッピング列車が出発

## 地域で考え育てる

教育懇談会・12/6

No.2

総領小学校で、保護者や教職員を対象とした教育懇談会が開催され、15人が参加しました。

今回は「総領の子供に期待すること」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネリストとして教育経験者の才谷利史さん、主任児童委員の迫江茂幸さん、総領自治振興センターの中田博章さん、地域で子育てをしている栄正人さんが壇上に上がり、意見発表が行われました。意見発表では、テーマに沿ってパネリストそれぞれの立場から、自身の考えについて熱心な討論が行われました。

参加者は「子育ての参考となる話をたくさん聞くことができた。地域の皆さんの頑張りに感謝します」と話しました。



▲パネリストによる意見発表